

「町民・区民の意見をしっかりと聞いてくれ」

運動団体幹部いいなりの弊害か

有志議員が町長に要請

大町善士雄議員、中田要治議員、西澤伸明議員は5月11日、山本町長に対し、長寺センター改築計画に関し、予定用地の契約解除にともない「用地と一体のものとして計画された」建物の大きさなどを見直して議会への再提出を求める要請書を提出。要請書では、改築に反対する立場ではなく、「同改築事業には『同和問題の解決』という重要な課題がかかわっているからこそ、汚点や疑問を残したまま強行してはならない」と述べています。

また、町が再議決をせずに改築場所の変更だけで済ませようとしているのは間違いだと指摘。「駐車場スペース、建築容積、採光の窓、出入り口などは改築場所・地形・日照・風向等と不可分の計画です。」と理由を強調。

同日、有志議員を代表して大町議員、西澤議員は山本町長と面談し「すでに事業が終了しているにもかかわらず、同様に重きを置いて住民・議会軽視もはなはだしい」などと強調しました。また「2800㎡の用地だったものから、もしも、児童公園2400㎡に変更するのであれば、体育館を持つ規模の大きさなどが問題となる」と指摘しました。町側は「経過説明をする予定」との返答にとどまりました。(要請書の全文は裏面)

改築用地白紙にともない計画の見直しを

玉木弁護士は「そもそも住民監査請求とは、住民一人でも、お金もいらず、『おかしい』と思つた税金の使い方などに対して行える住民主人公を支える制度」だと解説。「解同」言いなり町政の中で、住民訴訟をするまでもなく解決した意義を強調し、経過を報告しました。

質問・意見交換の中では、後ろめたいことがなければ、解約しないで済む」「町はもつと住民みんなに説明してほしい」「秘密主義が、今回おかしくなった元ではないか」などの意見が出されました。

そして、みんなに納得してもらえぬ場所選びと改築をどうするか、これからが大事や」などの声も出されました。また西澤議員への厳しい注文もだされ、図面もなく改築予算を承認した議会と議員に対し、強い不信の声があがりました。

なお、集会は西澤議員の開会あいさつで始まり、同和行政・同和教育の終結を求める滋賀県連絡会事務局長の鈴木勉氏が連帯あいさつを行いました。

“改築図面のない予算を通じたなんてとんでもない”

5月12日、長寺センター改築用地買収にかかわる監査請求の結果報告集会が開催されました。公共事業の住民参加をめぐり、また「同和問題」の解決に向け、垣根を越えて率直な意見交換がされました。

活発で率直な
ご意見をありがとうございました

町議会議員 西澤伸明

報告集会の当日は地元で行事が重なったにもかかわらず、ご参加いただき、長寺の会場で行ってよかったと思えました。意見交換の時間には前のホワイトボードまで出てきて「わしはこう思う」と熱心にお話しただくなど、率直な意見交換になったと思います。お聞きしたご意見をもとに、町に反映していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

甲良民報

NO244 2004年5月16日
発行：日本共産党甲良町支部
支部長 西澤伸明 在士 463
Tel・Fax：38-4949
日本共産党のホームページ
<http://www.jcp.or.jp>
【月3回発行:月初めか月末原則休刊】

